

予算編成方針

【上下水道局の将来構想の実現】

- 「上下水道ビジョン（2020～2029）」の基本理念である「次世代へつなぐ持続可能な水循環社会の創造」の実現
 - ・5つの大綱の基本目標「安全・安心」「安定・強靱」「持続」「快適」「循環」の達成に向け、各種事業を一体的に推進
 - ・気候変動に対応した「水道水の安全性確保」「浸水被害軽減」「施設の耐震性確保」「緊急時の体制強化」に集中的に取り組む。
 - ・各種計画に基づき、施設の適切な維持管理・更新・耐震化、旧豊田浄水場跡地や下水道管理センター、遊休地等の資産の最適化を推進

【タイムパフォーマンス・コストパフォーマンスを踏まえた開物成務経営】

- DXによる徹底したデジタル化・事務の効率化によるサービス向上及び事業の円滑な実施
- スマートフォンを活用したキャッシュ決済とカンタラーの推進、営業外収益の確保と将来を見据えた遊休資産等の有効活用や売却を積極的に推進

【SDGsの実現と2030年～2050年に向けたバックカスティング思考による基盤づくり】

- SDGsの達成に向けバックカスティング思考のもと、EBPMの手法を用い、必要性や緊急性、波及効果の高いものから施策の優先度を定め、実行に移すとともに将来を見据えた持続可能な経営基盤づくりを推進

取り組むべき課題

【共通事項】

- 事業の効率化による経費削減（5ヵ年、新たな企業会計システム構築、DXの推進）
- 脱炭素に向けた事業経営（太陽光発電設備導入の検討、施設のLED化、小水力発電事業の拡充）
- デジタル化の推進（下水道管理センター、旧豊田浄水場跡地、局庁舎等）
- 官民連携・パートナーシップの推進（DB・DBO方式の推進）

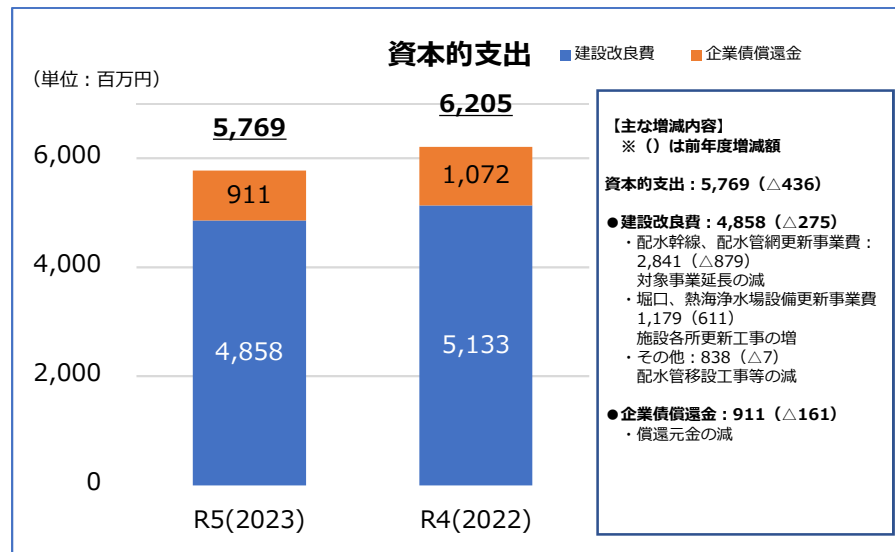
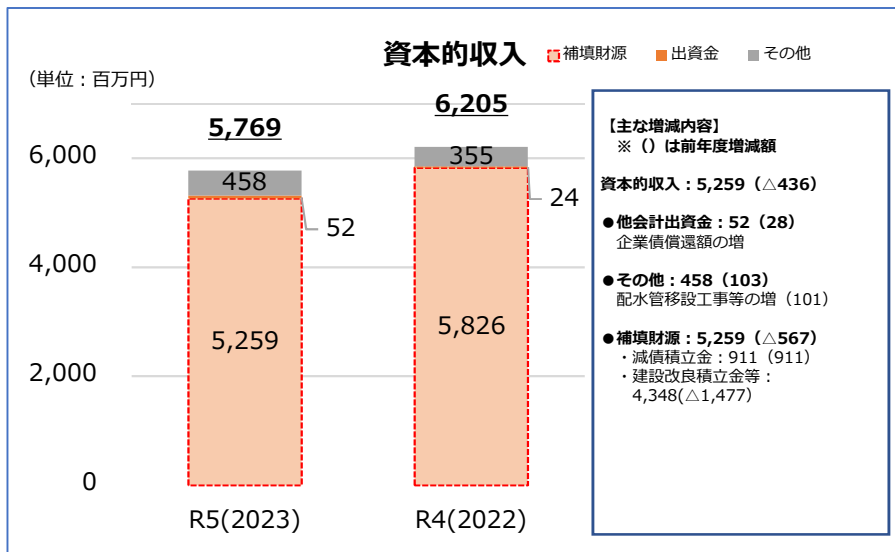
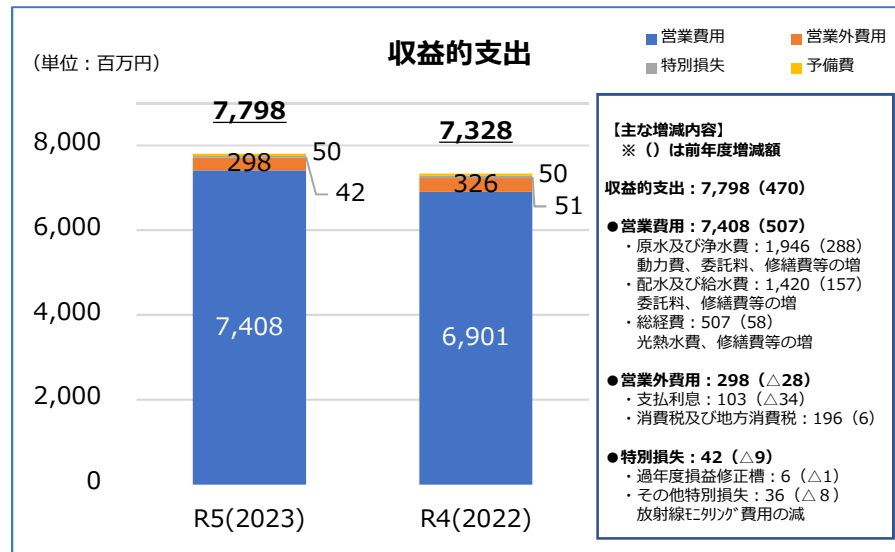
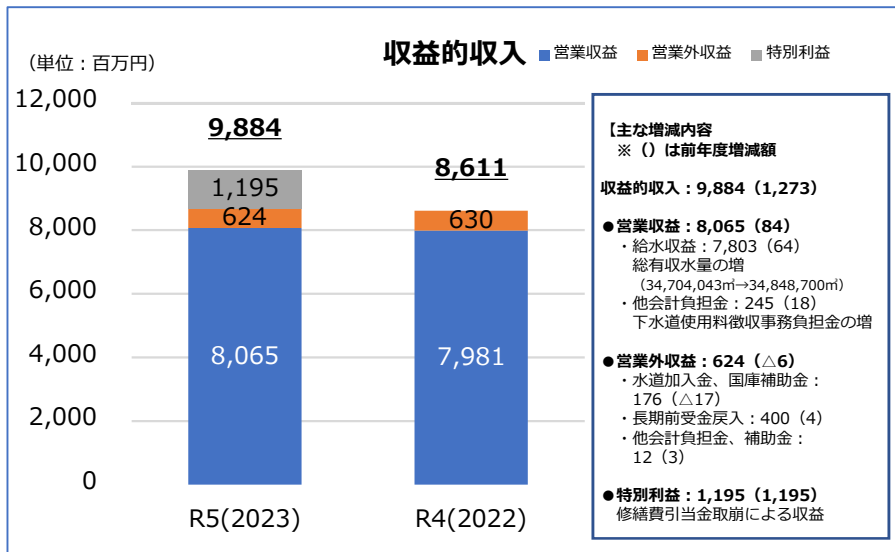
【水道事業・簡易水道事業】

- 更新需要の的確な把握（管路耐震化、浄水場更新）
- 漏水対策等による有収率の向上
- 営業外収益確保（資産の有効活用、企業債の活用）
- 柳橋浄水場給水区水源の検討
- 窓口サービスの業務包括委託の拡充
- 水質検査体制の拡充

【下水道事業・農業集落排水事業】

- 流域治水の推進
- 人口減少時代に即した汚水面整備事業の推進
- 特定環境保全公共下水道事業の方向性についての検討
- 農業集落排水施設の公共下水道接続検討

令和5（2023）年度 水道事業当初予算について



令和5（2023）年度 下水道事業当初予算について

